

令和2年度

事業計画及び予算書

公益財団法人いばらき文化振興財団

目 次

| | |
|----------------|---------|
| I 事業計画 | 1 ~ 13 |
| II 収支予算書 | 14 ~ 18 |

I 事業計画

| | | |
|-----------------------|-------|---------|
| 基本方針 | | 1 |
| 1 公益目的事業1(文化振興事業) | | 2 ~ 6 |
| 2 収益事業1(県民文化センター自主事業) | | 6 |
| 3 公益目的事業2(水族館事業) | | 7 ~ 12 |
| 4 収益事業2(水族館売店事業) | | 12 ~ 13 |
| 5 法人運営 | | 13 |

I 事業計画

基本方針

当財団は、「各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与する」ことを目的として、次の事業を実施する。

また、公益財団法人として公益目的事業を引き続き遂行するとともに、収支の均衡した健全で責任ある経営に努めるものとする。

令和2年度は、県民の自主的・個性的な文化活動の支援奨励とともに、文化芸術の担い手の育成、様々な芸術公演に接する機会を提供するほか、県民の文化活動の拠点である「茨城県立県民文化センター」の管理運営、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ海の総合ミュージアムである「アクアワールド茨城県大洗水族館」の運営を行い、県民から愛され、親しまれる施設運営と事業展開に努める。

なお、世界保健機関（WHO）が「パンデミック」と表明した新型コロナウイルスに対しては、国や県等の動向を注視し、利用者の安全確保に細心の注意を払うとともに、感染拡大防止対策に万全を期し、両施設の管理運営に当たるものとする。

1 文化振興事業

(1) 文化振興推進事業

文化芸術活動への助成事業や若手演奏家の発掘・育成・支援等に加え、地域文化資源の活用、県内の児童・生徒を対象とし、登録アーティストを活用した新たなアウトリーチを実施するとともに、財団の自主事業として、質の高い海外の舞台芸術「オペラ」を上演し、個性豊かな本県文化形成を推進する。

(2) 茨城県立県民文化センター指定管理事業

第3期指定管理期間（平成28年4月1日から令和3年3月31日までの5年間）の5年目として、県民の要望に沿った多種多様なジャンルの舞台公演に接する機会の提供と施設の適切な管理運営を引き続き行っていく。

2 水族館事業

アクアワールド茨城県大洗水族館

令和3年1月のクラゲ水槽整備やミュージアムゾーン改修など、開館以来の大きかりなりリニューアルへの期待感を醸成する広報活動を関係機関と連携して進めることで、新たな客層の掘り起こしを図り、総入場者数年間120万5千人を目指し、もって安定経営・収支均衡に努めていく。

<財団全体の施設年間利用者目標数>

| | | | |
|---------|---|----------------------|---------|
| 175万6千人 | 〔 | 茨城県立県民文化センター利用者数 | 55万1千人 |
| | | アクアワールド茨城県大洗水族館総入場者数 | 120万5千人 |

1 公益目的事業1（文化振興事業）

（1）文化振興推進事業

ア 文化芸術活動への助成

文化活動を行う団体等に対して事業費の一部を助成し、県民の自主的・個性的な文化活動を支援奨励する。

| 事 項 | 内 容 |
|--------|-----------|
| 助成交付件数 | 61 事業 |
| 助成予定額 | 20,604 千円 |

イ 参加創造事業（9 事業）

本県出身・在住の若手演奏家の発掘・育成・支援を図る「茨城県新人演奏会」をはじめ、財団自主公演として「イタリア・バーリ歌劇場」によるオペラ「アイダ」を実施する。

また、新規事業として、「茨城の民話」を題材としたミュージカルや、成果発表までのプロセスから豊かな学びを育む登録アーティストによるアウトリーチを実施する。

なお、公的助成金や協賛金等の外部資金の獲得に努め、幅広くより多くの方々に文化芸術に触れ、参加・創造する機会を提供する。

| 月 日 | 公演名 | 会 場 |
|--------------|---------------------------------------|-------------------------|
| 9 月 27 日（日） | 第 46 回茨城県新人演奏会 | 大ホール |
| 11 月 15 日（日） | 新進演奏家支援・育成事業 「新人演奏会受賞者コンサート」 | 常陽藝文センター |
| 11 月 24 日（火） | 海外舞台公演事業 イタリア・バーリ歌劇場「アイダ」 | 大ホール |
| 1 月 24 日（日） | 新進演奏家支援・育成事業 「新人演奏会管弦楽団コンサート」 | 大ホール |
| 2 月 7 日（日） | 新進演奏家支援・育成事業 「ミュージックカフェ Vol. 6」 | 小ホール |
| 3 月 13 日（土） | 新進演奏家支援・育成事業 「新人演奏会歴代受賞者コンサート」 | 小ホール |
| 3 月 20 日（土） | 地域文化資源活用事業 「茨城の民話 伝承プログラム」（ミュージカル） | 小ホール |
| 10 月～12 月 | 新進演奏家支援・育成事業 「サロンコンサート」（3 回） | キッチンハウス「和」 （文化センター内） |
| 通年 | アウトリーチ 「みんなで作ろう私たちの音楽」 | 県内小学校 |
| 計 9 事業 | | |

ウ 受託事業（2事業）

県内のオーケストラ団体によるクラシック音楽の魅力を伝えるコンサートを実施し、本県出身・在住の演奏家の支援・育成に努める。

このほか、県内の児童・生徒を対象に音楽・美術・伝統文化に加え、新規に食文化を取り入れた文化芸術体験出前講座を実施し、子どもたちの豊かな感性や創造性の育成に努める。

| 月 日 | 事業名 | 会 場 |
|--------|--|-----------|
| 未 定 | みんなで楽しむオーケストラ | 未 定 |
| 通 年 | 文化芸術体験出前講座 ・音楽/美術/伝統文化/食文化/希望枠（88校） | 県内小中高等学校等 |
| 計 2 事業 | | |

エ 地元演奏家への支援

支援強化を図るため、財団登録アーティスト制度を活用した派遣事業等の創設準備を行う。

- ・登録アーティスト派遣事業
- ・登録アーティスト・スポンサー事業

(2) 県民文化センター指定管理事業

ア 公演事業（主催 5 事業、共催 14 事業、計 19 事業）

次代を担う若手俳優、尾上松也や中村梅枝が出演する「松竹大歌舞伎」や人形演劇「ばけものづかい」等を実施するとともに、民間プロモーターと協力し、「アルゼンチン・タンゴコンサート」や「だいすけお兄さん世界迷作劇場」等を実施し県民要望に沿った多種多様なジャンルの舞台公演に接する機会を提供する。

また、ホームページをはじめ、各種広報媒体を活用した情報発信の強化やチケット入手が簡便にできる Web チケット販売システムの導入など、新規鑑賞者の開拓とリピーターの確保に努める。

| | 月 日 | 公演名 | 会 場 |
|-----|-----------|-------------------|------|
| 主 催 | 9月12日（土） | 松竹大歌舞伎 | 大ホール |
| | 9月12日（土） | 歌舞伎鑑賞講座 | 小ホール |
| | 11月24日（火） | オペラ鑑賞講座 | 小ホール |
| | 12月19日（土） | 人形演劇「ばけものづかい」 | 小ホール |
| | 2月21日（日） | 爆笑寄席「三遊亭円楽、林家たけ平」 | 大ホール |
| 共 催 | 4月18日（土） | 渡辺美里コンサート | 大ホール |
| | 5月29日（金） | 森山良子コンサート | 大ホール |
| | 6月6日（土） | アルゼンチン・タンゴコンサート | 小ホール |
| | 6月13日（土） | 美輪明宏講演会 | 大ホール |
| | 7月17日（金） | 稲川淳二の怪談ナイト | 小ホール |
| | 8月25日（火） | 落語会「柳亭市馬 林家喬太郎」 | 大ホール |
| | 9月6日（日） | 平原綾香コンサート | 大ホール |
| | 9月13日（日） | だいすけお兄さん世界迷作劇場 | 大ホール |

| | | | |
|---------------------|-----------|-------------------|------|
| 共催 | 10月15日(木) | 南こうせつコンサートツアー | 大ホール |
| | 10月24日(土) | サーカスコンサート | 大ホール |
| | 10月27日(火) | フジコヘミングピアノリサイタル | 大ホール |
| | 12月12日(土) | クリスマス・ゴスペルコンサート | 大ホール |
| | 12月13日(日) | AI コンサート | 大ホール |
| | 3月6日(土) | 高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト | 大ホール |
| 計19事業(主催5事業・共催14事業) | | | |

イ 施設の利用促進及びサービスの向上

県民文化センター指定管理者として、大小ホール、県民ギャラリー、集会室など、多様な利用機会を提供し、県民に広く利用されるよう努めるとともに、施設の安全性・快適性を確保する。(利用者数551千人、利用料金収入99,355千円)

(ア) 施設利用計画

| 事 項 | 利用者数 | 利用日数 | 利用料金収入 | 利用率 |
|---------|----------|--------|-------------|-------|
| 大ホール | 237,400人 | 256日 | 58,377,000円 | 86.2% |
| 小ホール | 69,400人 | 234日 | 12,200,000円 | 71.6% |
| 本館集会室 | 74,300人 | 319日 | 5,984,000円 | 94.0% |
| 分館集会室 | 38,800人 | 313日 | 11,161,000円 | 90.7% |
| 和室 | 3,100人 | 168日 | 1,418,000円 | 49.6% |
| 一般展示室 | 60,000人 | 235日 | 5,606,000円 | 67.5% |
| 県民ギャラリー | 66,400人 | 234日 | 4,197,000円 | 67.2% |
| 練習室 | 1,900人 | 112日 | 412,000円 | 34.7% |
| 計 | 551,300人 | 1,871日 | 99,355,000円 | 69.5% |

※利用率は、利用可能日に対する利用日数の割合。

(イ) 1月限定割引による利用促進

1月限定の施設利用料金割引を継続して実施し、ホームページを中心とした情報発信により当割引について周知し、閑散期の利用を促進する。(大ホール・小ホール・和室・一般展示室・県民ギャラリーの施設利用料の50%割引)

(ウ) 新規利用者(団体等)及びリピーターの確保

ホームページ等で催事及び施設の空き状況等の最新情報を更新するほか、利用団体へのダイレクトメールの発送などにより利用促進を図る。

なお、近隣市町村の文化施設及び関係各団体等へ「催し物ご案内」(情報誌)を配布し、来館者の確保に努める。また、県民文化センターの一層の利用促進を図るため、コンベンション等の誘致を推進する。

(エ) 各団体との連携

関係団体等と連携し、施設の利用促進に努める。

- ・茨城文化団体連合など各文化団体等との連携。
- ・茨城県公立文化施設協議会及び全国公立文化施設協会との連携による加盟施設館との情報共有と協同による利用の促進。
- ・県民文化センター友の会を通じたチケット販売や各種イベント情報提供。
- ・茨城県及び水戸観光コンベンション協会等の関係団体との連携による全国規模や地域ブロック規模の大会等の誘致。

(オ) サービスの向上

会場受付業務は平日の営業時間の延長を継続し、利用者へのサービス向上を図る。チケット販売については、窓口での販売に加え、インターネットによるチケット購入ができる Web チケット販売システムを導入し、チケット購入の利便性向上を図る。

また、利用者の主催者双方を対象とする利用満足度調査（アンケート調査）を随時実施するとともに、ホームページの中でも「Web アンケート」を行い、利用者の要望等を分析する。なお、改善が可能な案件については速やかな対応に努めるほか、要望及び対応についてはホームページに公開する。

(カ) 県民文化センター友の会の運営

新たな Web チケット販売システム導入に伴い、会費無料の Web 会員登録制度を設け、新規会員の確保に努める。また、有料会員については、自主公演事業の先行予約・割引販売等を実施するほか、これまでの特典を多くの会員に還元できるよう見直しを行い、魅力の強化に努める。

(キ) 「スタインウェイを体感しよう」の開催

県民文化センターの備品であるスタインウェイ社製のフルコンサートピアノの有効利用を図るとともに、管理上も良好な状態を保つ観点から、大ホールの空き日を利用し、希望者に対し無料で演奏する機会を提供する。（年7回）

ウ 安全・安心で快適な施設づくり

(ア) 施設整備計画

施設の長寿命化を図るため、県と協議のうえ修繕計画を策定し、計画的な修繕を実施する。なお、危険箇所の早期発見及び事故の未然防止に努め、緊急性の高い修繕箇所については優先的にかつ迅速に修繕を実施する。大規模な修繕項目に関しては設計業者に委託し整備項目の抽出等を行い、県と協議しながら進めていく。

今年度は、受動喫煙対策に伴い喫煙所の移設をはじめ、安全確保の観点から中庭御影石防滑加工工事や屋外照明修繕、多目的トイレの自動ドア化など利便性及び安全性の向上を図り、利用者に優しい快適な施設づくりに努める。

＜施設維持・管理に係る基本的考え方＞

- ・満足度調査結果を利用者の声としてとらえ、優先して不具合等の解消に努める。
- ・環境への配慮に努め、省エネルギーの推進、ゴミの分別化や削減等に取り組むほか偕楽園公園に隣接する施設として環境美化に努め、適正管理を行う。
- ・障害者や高齢者が来館した際にも施設を快適に利用できるようにバリアフリー化を進めていく。

(イ) 危機管理対策

東日本大震災や県民文化センター分館地下倉庫の浸水等で得た教訓を活かし、火災訓練のほか、大規模地震や水害を想定した避難訓練等を実施し、利用者の安全確保に努める。また、危機管理対応マニュアルの見直しを常時行うとともに、災害発生時に迅速かつ安全に行動が出来るよう、職員をはじめ委託業者及び分館使用団体等関係者への周知を徹底する。

- ・避難訓練の実施（年2回実施。火災及び大規模地震を想定）
- ・危機管理対応マニュアルの常時見直し
- ・AED（自動体外式除細動器）の管理及び操作方法習得の徹底
- ・火災、Jアラート及び地震発生時の対応のほか、不審者への対応、風水害・傷病等の対応
- ・大ホール催事等開催時の緊急事態への迅速な対応をするため、必要に応じて別途警備員を1名以上配置
- ・関係各団体との連絡体系の整備

2 収益事業1（県民文化センター自主事業）

(1) 売店事業

県民文化センター売店については、利便施設として利用者への一層のサービス向上に努める。

(2) 駐車場事業

茨城県から管理許可を受けた千波公園・県民文化センター前駐車場については、利用者が安全かつ円滑に利用できるよう管理運営に努める。（総利用台数：150,200台）

3 公益目的事業2（水族館事業）

（1）水族館の運営

水族館は、その基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通して、生物の多様性や自然環境、地球環境について楽しみながら学ぶという、教育と娯楽性を兼ね備えた施設として運営する。

また、水族館が本来持っている〔展示〕〔普及〕〔研究〕の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして次の機能を持たせた施設として運営する。

ア 「驚き・不思議・発見・楽しさ・やすらぎ」のアミューズメント（娯楽）要素を持った観光レクリエーション施設

イ 地域の文化と経済に貢献する拠点施設

ウ 海を通した環境教育の場としての生涯学習施設

エ 自然保護と種の保存に関する実践・研究施設

令和2年度は、開館以来の大規模リニューアルを契機として、さらなる飛躍を目指し、入場者の大幅増を図っていく。

リニューアルでは、視界いっぱいに広がる幻想的な海の世界を来館者に提供するクラゲ大水槽を整備するほか、ミュージアムゾーンをサメに特化した全面改修を行うとともに、夜をテーマにした雰囲気醸し出す飲食ゾーンに変更して、新たな客層の集客を図る。リニューアルについて、上期から様々な媒体を活用して期待感を演出するPRを行い、誘客に繋げていく。

なお、修繕計画に基づく施設整備について、緊急性の高いものから実施するなど資金の有効な活用を図るとともに安全な施設管理に努め、採算性の視点に立った効率的な予算執行を行う。

これらにより安定的な整備を継続できるよう収支均衡を図り、施設整備資金を確保していく。

（2）飼育展示事業

基本テーマに基づき生物の収集を行い、「見て、触れて、遊びながら楽しく学べる」展示の充実に努めるとともに、飼育生物や県内外に棲息する水生生物について調査・研究を行い、それらを通して自然環境保護の啓発活動を行うことで、環境保全の基幹施設としての一翼を担う。

ア 魚類展示

飼育生物の飼育・展示・繁殖研究を行い、生物固有の様々な情報を数多く発信することで常に新鮮な話題を来館者に提供する。また、今年度はリニューアルとして新クラゲ水槽（10 t×2 槽）を整備することから、展示するミズクラゲ約 8,000 個体を培養、展示し、幻想的な海の世界を提供する。

その他の水槽についても展示更新に努め、ミニ企画展や館外イベント展示などを積極的に行い、広報活動と連携させ新規来館者の獲得を図る。

生物収集では、漁業者や茨城県水産試験場との連携を強化し、サメ類・クラゲ類・その他の魚類など、幅広い生物相の収集に努めバリエーションあふれた展示を目指す。

また、新たなサメ類、深海性生物の供給地として、高知県室戸沖、静岡県駿河湾において収集活動を行い、新たな展示生物の開拓に向けて、搬入ルートや蓄養方法を確立する。

新規生物としては、狂暴なサメとしてのネームバリューのある“イタチザメ”を展示し、サメ水族館としての当館の知名度を高め、さらなる集客、飼育技術の向上を図る。

調査研究では、県内沿岸に來遊するサメ、マンボウ、ウミガメ類の生態調査及び県内に棲息する魚類・無脊椎動物の定性調査を行うとともに、県内に棲息する生物の多様な生態を解説に加えて展示することで、茨城の自然環境保全について啓発する。

また、各研究機関との共同研究を積極的に行い、サメ類の単為生殖のような生物の未知なる生態を解明して研究施設としての役割を果たしていく。

イ 海獣展示

鯨類の繁殖については、現在バンドウイルカ（愛称：ミント）が妊娠しており、4月1日頃の出産を予定している。

鳍脚類については、カリフォルニアアシカ（愛称：プリン）が妊娠しており、8月頃の出産を予定している。

また、新規事業として、「アシカふれあいタイム」を閑散期中心に実施していく。

ゴマフアザラシについては、現在飼育中（雌：2頭）の個体が高齢なため、若い個体（2頭：雌，雄）を搬入する計画である。

鳥類については、前年度ペンギン4羽，エトピリカ5羽の繁殖があり順調に増えている。そのため、血統的な観点から、他館との生体交換等やブリーディング等を積極的に取り組んで行く。

展示水槽に見合った展示効果と繁殖効果が期待できるため、カナダカワウソ（雌：2頭）を昨年度に続き搬入する。

イルカ・アシカオーシャンライブでは、お客様に満足していただけるよう、新しい種目の開発や、映像等を活かした特別感のあるオーシャンライブを展開するとともに、リニューアル後のナイトライブは照明と映像を取り入れ、今までにない驚きと感動が得られるよう趣向を凝らしていく。また、「レクチャー型ライブ」はさらなる充実を図りながら継続していく。

「イルカと泳ごう」については、引き続き夏期期間限定で1日5名、延べ日数約25日間実施する計画である。

保護・調査研究については、関係機関との連携を図りながら、茨城県沿岸へのストラディン調査活動を引き続き推進する。また、茨城県北家畜保健衛生所の協力により実施している病理検査等共同研究を今年度も継続して実施する。さらに、ホルモン検査やDNA検査等共同研究の視野を広げ実施していく。

鳥インフルエンザに関しては、情報収集を密にし、随時的確な消毒処置等の対応ができるよう万全を期していく。

ウ 自然博物館水系展示水槽管理受託事業

ミュージアムパーク茨城県自然博物館から受託した水系展示水槽の適切な管理を行うとともに、展示用生物の収集をはじめ、各種展示解説や企画展での水槽展示、維持管理を行う。

(3) 教育普及事業

生物や環境等について、誰もが気軽に楽しみながら学ぶことができる活動を展開するため、展示物及び設備や人材の活用を図り、館内外で発見体験学習、レクチャー・展示解説等の活動を進める。内容については参加者の声をよく聞きながら常に見直しを図る。さらに、大子町との連携協定締結に伴い、「森と海をつなぐ」事業を計画し実行する。

また、機関誌を通して水族館に関連した各種情報の提供に努めるとともに、学校等からの要請により自然観察会や講演会等へ講師を派遣するほか、移動教室を実施する。さらに、教育機関からの実習、職場体験学習や各種団体の研修の受入れを行うとともに、生涯学習施設としてボランティア活動支援を行う。

ア 発見体験学習の実施

生き物や自然環境、水族館に対する理解を促すため「自然体験塾」及び「さかなの絵コンクール」を実施する。自然体験塾については、内容の見直しを反映させた新講座として「夏休み飼育体験魚類編 1」「サメの歯のレプリカをつくろう」「ペンギンの擬卵づくり」などの他、大人向けの講座「マスタースクール」を実施する。

| 名 称 | 内 容 | 期 間 |
|----------------|--|-----|
| (1) 自然体験塾 | 小学生以上の年齢を対象とした、実験観察室での生き物観察や工作、野外での自然観察会等、生き物や自然に関する講座を19講座、延べ28回実施。また、大人向けのマスタースクールでは、生き物の生態や特徴の解説に加え、実際にサメやマンボウの解剖、標本作成などの講座も実施。 | 通 年 |
| (2) さかなの絵コンクール | 入館者（小学生）を対象に、展示生物を写生する機会を提供し作品展と表彰式を開催。写生会は土曜・日曜で延べ4回実施。 | 10月 |

イ レクチャー及び展示解説の実施

展示生物や自然環境に対する理解を深めてもらうために、入館者を対象に展示生物の生態等に関する解説サービスとして、なるほど魚っちんぐ（お魚発見教室レクチャー）、アクアウォッチング（水中対話解説）、スポットガイド、お食事タイム（給餌解説）及び水族館探検ツアー（バックヤード案内）等の各種プログラムを実施する。アクアウォッチングでは、水中ドローンを活用して来館者参加型のプログラムを設定し、生物への興味関心を深めていく。

また、解説員の業務管理や指導はもとより、お客様に分かりやすい解説を行い、多くの方に生物の情報と共に、「学べるプログラム」を提供する。

館内混雑特異日には、水族館探検ツアーに代わり、自由参加となる「バックヤードウォーク」を実施し、多くの来館者に参加していただく。

ウ コンピューター情報運用管理

館内の情報端末において、展示生物トピックス情報や環境保全、水族館の機能や役割等に関しての情報発信について管理を行う。

館全体のコンピューターシステム管理については、安全運用を図るため、システム構成についても見直しを行い、事務系と情報系ネットワークに分けて、必要な機器の選定やネットワークを構築する。

エ 機関誌『Sea 遊』の発行

水生生物等への理解促進とともに、水族館のイメージアップ、広報を図るため展示生物の興味深い生態やトピックス等、様々な情報を紹介する機関誌を年2回発行し、国内の動物園・水族館や県内の教育機関及び栃木県の小中学校等のほか、群馬県、千葉県、埼玉県の一部の小学校に配布する。

オ 深海ゾーン・海の生き物科学館及びお魚発見教室展示機器等の運用管理

各アイテムの適正な展示機能を確保するため、随時、生物資料を補充し、動作不良等の各種不具合が発生した場合は、その迅速な解消に努める。

カ 自然教室等への講師派遣

教育機関等の要請に応じ、水生生物や環境等をテーマとして、自然観察会・移動教室等の各種館外活動を行う。

キ 研修会等の受入れ

教育機関や団体からの要請に応じ、水生生物や飼育設備等をテーマとして、バックヤード見学・館内レクチャー・夜の水族館等の各種館内活動を積極的に行う。

ク 実習生の受入れ

社会教育施設、博物館相当施設としての役割を果たすため、学芸員・飼育実習・職場体験学習・インターンシップ等の受入れ対応と調整を行う。

ケ 生物解説アプリ・多言語アプリの導入

新たな生物解説アイテムとして、スマートフォンを活用した「かざすAI図鑑」の内容を充実させるほか、多言語アプリ（日本語・英語・手話）も積極的に館内で広報し、利用を促進させ来館者のサービスに努める。

コ ボランティア活動支援

生涯学習の一環として実施しているボランティア活動の支援を行う。年間を通して募集・研修を行うとともに毎月1回役員会を開催し、要望の集約、活動課題、研修計画等の検討・整理を進める。6月に総会・研修会、10月に他園館との交流研修会、11月に活動発表会「マンボラフェスタ」を開催する。また、知識向上を目的に専門家による講演会も実施する。

サ 大子町との連携事業の推進

国際社会の共通の持続可能な開発目標（SDGs）の「海の豊かさを守ろう」「陸のゆたかさを守ろう」を意識した教育普及事業を計画し、実行する。

(4) 誘客促進事業

従来の隣接県重点地域の中でもより首都圏を意識した地域へのPRを視野に入れ、鉄道や高速道路利用者への広告やキャンペーンなどを関係機関と連携して実施し、新たな客層の掘り起こしをねらう。

1月にオープンするリニューアルは、夜をテーマとした落ち着いた雰囲気をつねらいつつとしているため、従来のファミリー層に加えてカップルや大人女子の呼び込みを図る。

このため、SNSを活用した情報発信を行うとともに、様々なWebサイトへの広告を行う。

Web広告については来館可能性の高い地域や年代の把握に努め、今後の誘客対象選定に活かしていく。

また、団体の誘客として、観光業者や教育委員会へリニューアルを中心としたPR営業を継続して実施していく。

水族館入場券のWebチケット販売の拡大やキャッシュレスを導入するなど、お客様への利便性向上を図る。

| 催 事 名 | 期 間 |
|--|----------------------------------|
| みんなで盛り上げよう！2020イベント（仮） ・フォトサービス・館内装飾・キーワード応募イベント他 | 4月29日（水）～7月12日（日） GW期間（延長営業有） |
| 夜の水族館サマーナイト「延長営業」＜那珂湊花火＞ | 8月8日（土）予定、延長営業有 |
| ハロウィンイベント2020 ・スタンプラリーイベント・特設水槽他 | 9月5日（土）～10月31日（土） （57日間） |
| 年間パスポート所持者限定プレゼント | 11月1日（日）～11月30日（月） （30日間） |
| アクアワールドクリスマス2020 ・館内装飾・特設水槽他 | 11月21日（土）～12月25日（金） （35日間） |
| リニューアルオープニングイベント | 1月 |
| 年末年始イベント ・館内装飾・干支水槽他 | 12月26日（土）～1月11日（月） （17日間） |
| 開館19周年 アクアワールド☆感謝祭2021 | 2月27日（土）～4月4日（日） （37日間） |

(5) 管理運営部門

- ア 利用状況及び売上状況等各種データの分析を行うとともに、販売戦略会議・マーケットプレイス連絡会議を定期的開催するなど、経営状況を随時把握し安定経営に努める。
- イ 事務事業の効率化を図るとともに、省エネルギー推進委員会を活用して、さらなる省エネルギー化に積極的に取り組むなど経費の節減を図り、常に運営経費の見直しを行いながら、効率的な予算執行に努める。
- ウ 県有財産であるアクアワールド茨城県大洗水族館を管理するにあたり、腐食や老朽化による施設設備の修繕に対応し、安全安心かつ清潔さを保つ施設管理を行う。修繕計画に基づき、外壁塗装工事（3年計画2年目）や非常照明設備更新、空冷ヒートポンプチラー更新（2年計画2年目）などの大型工事を行う。
- エ 職員の資質向上と効率的運営に資するため、各種研修等を行うほか、ストレスチェックや毎月の衛生委員会の開催により、メンタルヘルスケア対策支援の充実を図る。
- オ 消防訓練のほか地震や津波を想定した避難訓練や、AED救急救命講習、個人情報保護や、マイナンバーの入力管理の徹底などコンプライアンスを遵守し、職員の危機管理意識や危機対応能力の向上を図る。
- カ 繁忙期の駐車場確保対策として、大洗第4埠頭の借り上げ及びシャトルバスの運行に加え、隣接する大洗公園駐車場の弾力的な借上げ運用により、駐車場の確保と周辺道路の渋滞緩和に努める。
- キ リニューアルオープンに向けて、運営内容及び体制の細部を検討していく。

4 収益事業2（水族館売店事業）

地域に貢献する観光拠点施設としての役割を踏まえ、マーケットプレイスの物販部門及び水族館内のミュージアムショップ、コーヒーショップの運営を行う。

ホームページやマスコミを活用した商品のPRや、館内マップを利用しての商品案内などを行い、売上の向上を図る。また、7月1日から始まるプラスチック製レジ袋有料化義務化に向けて、適正な運用を行い、プラスチック製レジ袋の削減に努め、海洋汚染の対応など環境問題に対する取り組みを推進する。

ア スーベニアショップ「モラモラ」の運営

他館では購入できないオリジナル商品の開発・販売促進に努め、特に当館初展示であるカナダカワウソグッズの制作販売を推し進める。さらに、イベントとタイアップした関連商品の導入を推進するとともに、季節毎の店舗内装飾を行い、リピーター層にも満足してもらえる新鮮な店舗づくりに努め、収入増を図る。

イ ミュージアムショップ「ガレオス」の運営

ミュージアムショップとして、サメを中心とした特色ある商品展開や、高価格ながらも専門性のある高品質な商品を揃えることで、モラモラとの差別化を図り、さらなる売上増に繋げる。また、季節に合わせたセット販売を実施し、売上の向上に努める。

また、1月以降のリニューアル後は、コレクターズショップとして生まれ変わるため、新規オープンに向けて、設計業者と連絡を密に取りながら、最良の店舗展開が図れるように推し進めていく。

ウ コーヒーショップ「マーメイドギャラリー」の運営

サメに関連したオリジナル商品の開発販売をさらに推し進める。また、季節感のあるメニューや企画展イベントに合わせたメニューの展開に努める。

1月以降のリニューアル後は、カフェラウンジ的な雰囲気となることから、新たなメニューの開発や、夜間営業に伴う夜ならではのメニュー選定など、特別感の創出を行い、利用者満足度の向上を図る。

また、現在プラスチック製ストローから紙ストローへの切り替え、カトラリー類の木製品化が完了したところだが、さらにプラスチック製食器やカップも経費と勘案しながら見直しを進め、環境問題への取り組みを推進する。

5 法人運営

茨城県立県民文化センター及びアクアワールド茨城県大洗水族館を効果的・効率的に運営するため、理事会及び評議員会をはじめ、諸会議の開催、財務及び組織の適切な管理、第4期中期経営計画の進行管理などを行う。

また、茨城県立県民文化センターの次期指定管理の指定に向け、諸準備を進める。

Ⅱ 収 支 予 算 書

- 正味財産増減予算書(損益ベース) 14 ~ 15
- 正味財産増減予算書内訳表 16 ~ 17
- 資金調達, 設備投資及び特定資産残高の見込み書 18

令和2年度 正味財産増減予算書(損益ベース)
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:千円)

| 科目 \ 区分 | 当年度予算 | 前年度予算 | 減 増 |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| I 経常増益の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| ① 基本財産等運用益 | 313 | 313 | 0 |
| ② 特定資産運用益 | 2,097 | 3,233 | △ 1,136 |
| ③ 事業収益 | 2,691,234 | 2,631,451 | 59,783 |
| 自主公演入場料収益 | 29,483 | 15,099 | 14,384 |
| 受託公演入場料収益 | 250 | 8,492 | △ 8,242 |
| 手数料収益 | 12,188 | 14,919 | △ 2,731 |
| 負担金収益 | 2,200 | 2,700 | △ 500 |
| 文化芸術創造・発信事業委託金収益 | 26,106 | 46,100 | △ 19,994 |
| 県民文化センター指定管理収益 | 193,426 | 189,426 | 4,000 |
| 県民文化センター利用料収益 | 99,355 | 103,143 | △ 3,788 |
| 自然博物館水系展示水槽管理委託金収益 | 16,027 | 15,762 | 265 |
| 水族館入場料収益 | 1,540,328 | 1,442,253 | 98,075 |
| 飲食料収益 | 0 | 24,324 | △ 24,324 |
| 売店収益 | 743,984 | 740,957 | 3,027 |
| 駐車場利用料収益 | 27,887 | 28,276 | △ 389 |
| ④ 受取補助金等 | 59,380 | 58,514 | 866 |
| 受取財団運営費補助金 | 52,691 | 57,214 | △ 4,523 |
| 受取助成金 | 6,689 | 1,300 | 5,389 |
| ⑤ 雑収益 | 13,313 | 14,765 | △ 1,452 |
| ⑥ 指定正味財産からの振替額 | 0 | 15,219 | △ 15,219 |
| 経常収益計(A) | 2,766,337 | 2,723,495 | 42,842 |
| (2) 経常費用 | | | |
| ① 事業費 | 2,818,056 | 2,704,283 | 113,773 |
| 文化活動団体等助成金 | 18,635 | 16,553 | 2,082 |
| 役員報酬 | 12,938 | 12,823 | 115 |
| 給料手当 | 606,208 | 466,863 | 139,345 |
| 臨時雇賃金 | 13,781 | 177,085 | △ 163,304 |
| 福利厚生費 | 7,117 | 2,542 | 4,575 |
| 法定福利費 | 96,563 | 102,353 | △ 5,790 |
| 報償費 | 13,360 | 7,970 | 5,390 |
| 旅費交通費 | 12,362 | 7,494 | 4,868 |
| 接待交際費 | 72 | 60 | 12 |
| 消耗品費 | 72,684 | 71,658 | 1,026 |
| 燃料費 | 55,311 | 52,501 | 2,810 |
| 会議費 | 1,376 | 935 | 441 |
| 印刷製本費 | 25,670 | 23,021 | 2,649 |
| 光熱水料費 | 190,422 | 199,460 | △ 9,038 |
| 修繕費 | 56,499 | 39,845 | 16,654 |
| 飼料費 | 26,046 | 23,153 | 2,893 |
| 医薬材料費 | 1,582 | 1,830 | △ 248 |
| 賄材料費 | 36,261 | 37,567 | △ 1,306 |
| 通信運搬費 | 7,864 | 7,638 | 226 |
| 広告宣伝費 | 44,428 | 31,835 | 12,593 |
| 支払手数料 | 75,280 | 66,395 | 8,885 |
| 保険料 | 2,093 | 2,103 | △ 10 |
| 委託費 | 625,255 | 569,973 | 55,282 |
| 賃借料 | 63,364 | 47,950 | 15,414 |
| 工事請負費 | 8,951 | 31,525 | △ 22,574 |
| 原材料費 | 388,816 | 382,546 | 6,270 |
| 生物購入費 | 16,967 | 13,255 | 3,712 |
| 支払負担金 | 4,437 | 4,093 | 344 |
| 租税公課 | 67,458 | 58,002 | 9,456 |
| 退職給付費用 | 27,284 | 29,130 | △ 1,846 |
| 雑費 | 50 | 50 | 0 |
| 修繕工事負担金 | 231,641 | 186,571 | 45,070 |
| 県納付金 | 250 | 8,492 | △ 8,242 |
| 減価償却費 | 7,031 | 21,012 | △ 13,981 |

(単位:千円)

| 科目 \ 区分 | 当年度予算 | 前年度予算 | 減 増 |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|
| ② 管理費 | 16,727 | 13,823 | 2,994 |
| 役員報酬 | 2,693 | 957 | 1,736 |
| 給料手当 | 3,214 | 4,427 | △ 1,213 |
| 臨時雇賃金 | 0 | 260 | △ 260 |
| 福利厚生費 | 6 | 8 | △ 2 |
| 法定福利費 | 783 | 844 | △ 61 |
| 旅費交通費 | 120 | 823 | △ 703 |
| 接待交際費 | 28 | 40 | △ 12 |
| 消耗品費 | 707 | 730 | △ 23 |
| 燃料費 | 4 | 28 | △ 24 |
| 会議費 | 284 | 434 | △ 150 |
| 印刷製本費 | 780 | 991 | △ 211 |
| 修繕費 | 71 | 100 | △ 29 |
| 医薬材料費 | 0 | 0 | 0 |
| 通信運搬費 | 334 | 502 | △ 168 |
| 広告宣伝費 | 58 | 153 | △ 95 |
| 支払手数料 | 155 | 313 | △ 158 |
| 保険料 | 46 | 0 | 46 |
| 委託費 | 295 | 289 | 6 |
| 賃借料 | 1,107 | 1,372 | △ 265 |
| 支払負担金 | 1,049 | 970 | 79 |
| 租税公課 | 52 | 138 | △ 86 |
| 退職給付費用 | 4,077 | 415 | 3,662 |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 |
| 減価償却費 | 864 | 29 | 835 |
| 経常費用計(B) | 2,834,783 | 2,718,106 | 116,677 |
| 当期経常増減額(A)-(B) | △ 68,446 | 5,389 | △ 73,835 |
| 2 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外収益計(C) | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外費用計(D) | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額(C)-(D) | 0 | 0 | 0 |
| 他会計振替額(E) | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 68,446 | 5,389 | △ 73,835 |
| 一般正味財産期首残高 | 1,334,178 | 1,307,632 | 26,546 |
| 一般正味財産期末残高 | 1,265,732 | 1,313,021 | △ 47,289 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| ① 一般正味財産への振替額 | 0 | △ 15,219 | 15,219 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | △ 15,219 | 15,219 |
| 指定正味財産期首残高 | 565,000 | 648,069 | △ 83,069 |
| 指定正味財産期末残高 | 565,000 | 632,850 | △ 67,850 |
| III 正味財産期末残高 | 1,830,732 | 1,945,871 | △ 115,139 |

令和2年度 正味財産増減予算書内訳表
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:千円)

| 科目 \ 区分 | 公益目的事業会計 | | | 収益事業会計 | | | 法人会計 | 合計 |
|--------------------|----------------------|---------------------|-----------|----------------------------|---------------------------|---------|--------|-----------|
| | 公1 文化 振興 事業 | 公2 水族 館事 業 | 小計 | 収1 文化 自主 セン ター | 収2 水族 館売 店事 業 | 小計 | | |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | | | | | |
| 1 経常増減の部 | | | | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | | | | |
| ① 基本財産等運用益 | 313 | 0 | 313 | 0 | 0 | 0 | 0 | 313 |
| ② 特定資産運用益 | 1,985 | 96 | 2,081 | 7 | 7 | 14 | 2 | 2,097 |
| ③ 事業収益 | 350,247 | 1,556,355 | 1,906,602 | 55,155 | 729,477 | 784,632 | 0 | 2,691,234 |
| 自主公演入場料収益 | 29,483 | 0 | 29,483 | 0 | 0 | 0 | 0 | 29,483 |
| 受託公演入場料収益 | 250 | 0 | 250 | 0 | 0 | 0 | 0 | 250 |
| 手数料収益 | 9,661 | 0 | 9,661 | 2,527 | 0 | 2,527 | 0 | 12,188 |
| 負担金収益 | 2,200 | 0 | 2,200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,200 |
| 受託公演委託金収益 | 26,106 | 0 | 26,106 | 0 | 0 | 0 | 0 | 26,106 |
| 県民文化センター指定管理収益 | 193,426 | 0 | 193,426 | 0 | 0 | 0 | 0 | 193,426 |
| 県民文化センター利用料収益 | 89,121 | 0 | 89,121 | 10,234 | 0 | 10,234 | 0 | 99,355 |
| 自然博物館水系展示水槽管理委託金収益 | 0 | 16,027 | 16,027 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16,027 |
| 水族館入場料収益 | 0 | 1,540,328 | 1,540,328 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,540,328 |
| 売店収益 | 0 | 0 | 0 | 14,507 | 729,477 | 743,984 | 0 | 743,984 |
| 駐車場利用料収益 | 0 | 0 | 0 | 27,887 | 0 | 27,887 | 0 | 27,887 |
| ④ 受取補助金等 | 28,797 | 13,858 | 42,655 | 0 | 0 | 0 | 16,725 | 59,380 |
| 受取財団運営費補助金 | 22,108 | 13,858 | 35,966 | 0 | 0 | 0 | 16,725 | 52,691 |
| 受取助成金 | 6,689 | 0 | 6,689 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,689 |
| ⑤ 雑収益 | 683 | 3,866 | 4,549 | 0 | 8,764 | 8,764 | 0 | 13,313 |
| ⑥ 指定正味財産からの振替額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常収益計(A) | 382,025 | 1,574,175 | 1,956,200 | 55,162 | 738,248 | 793,410 | 16,727 | 2,766,337 |
| (2) 経常費用 | | | | | | | | |
| ① 事業費 | 435,416 | 1,636,566 | 2,071,982 | 46,832 | 699,242 | 746,074 | 0 | 2,818,056 |
| 文化活動団体等助成金 | 18,635 | 0 | 18,635 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18,635 |
| 役員報酬 | 4,685 | 7,221 | 11,906 | 520 | 512 | 1,032 | 0 | 12,938 |
| 給料手当 | 137,300 | 370,071 | 507,371 | 7,430 | 91,407 | 98,837 | 0 | 606,208 |
| 臨時雇賃金 | 65 | 9,712 | 9,777 | 1,800 | 2,204 | 4,004 | 0 | 13,781 |
| 福利厚生費 | 1,841 | 4,853 | 6,694 | 92 | 331 | 423 | 0 | 7,117 |
| 法定福利費 | 23,624 | 59,704 | 83,328 | 1,382 | 11,853 | 13,235 | 0 | 96,563 |
| 報償費 | 12,790 | 570 | 13,360 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,360 |
| 旅費交通費 | 5,127 | 6,657 | 11,784 | 82 | 496 | 578 | 0 | 12,362 |
| 接待交際費 | 11 | 49 | 60 | 1 | 11 | 12 | 0 | 72 |
| 消耗品費 | 11,025 | 43,141 | 54,166 | 606 | 17,912 | 18,518 | 0 | 72,684 |
| 燃料費 | 3,875 | 44,613 | 48,488 | 1 | 6,822 | 6,823 | 0 | 55,311 |
| 会議費 | 944 | 393 | 1,337 | 7 | 32 | 39 | 0 | 1,376 |
| 印刷製本費 | 7,050 | 17,924 | 24,974 | 125 | 571 | 696 | 0 | 25,670 |
| 光熱水料費 | 23,319 | 144,246 | 167,565 | 844 | 22,013 | 22,857 | 0 | 190,422 |
| 修繕費 | 15,928 | 36,437 | 52,365 | 1,046 | 3,088 | 4,134 | 0 | 56,499 |
| 飼料費 | 0 | 26,046 | 26,046 | 0 | 0 | 0 | 0 | 26,046 |
| 医薬材料費 | 15 | 1,560 | 1,575 | 0 | 7 | 7 | 0 | 1,582 |
| 賄材料費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 36,261 | 36,261 | 0 | 36,261 |
| 通信運搬費 | 2,774 | 4,557 | 7,331 | 20 | 513 | 533 | 0 | 7,864 |
| 広告宣伝費 | 1,885 | 42,495 | 44,380 | 2 | 46 | 48 | 0 | 44,428 |
| 支払手数料 | 5,787 | 63,168 | 68,955 | 523 | 5,802 | 6,325 | 0 | 75,280 |
| 保険料 | 287 | 1,273 | 1,560 | 172 | 361 | 533 | 0 | 2,093 |
| 委託費 | 123,917 | 414,908 | 538,825 | 18,340 | 68,090 | 86,430 | 0 | 625,255 |
| 賃借料 | 14,385 | 39,908 | 54,293 | 613 | 8,458 | 9,071 | 0 | 63,364 |
| 工事請負費 | 0 | 8,951 | 8,951 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8,951 |
| 原材料費 | 0 | 0 | 0 | 9,865 | 378,951 | 388,816 | 0 | 388,816 |
| 生物購入費 | 0 | 16,967 | 16,967 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16,967 |
| 支払負担金 | 761 | 2,781 | 3,542 | 25 | 870 | 895 | 0 | 4,437 |
| 租税公課 | 12,102 | 44,375 | 56,477 | 1,104 | 9,877 | 10,981 | 0 | 67,458 |
| 退職給付費用 | 6,649 | 16,590 | 23,239 | 2,038 | 2,007 | 4,045 | 0 | 27,284 |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50 | 50 | 0 | 50 |
| 修繕工事負担金 | 0 | 202,575 | 202,575 | 0 | 29,066 | 29,066 | 0 | 231,641 |
| 県納付金 | 250 | 0 | 250 | 0 | 0 | 0 | 0 | 250 |
| 減価償却費 | 385 | 4,821 | 5,206 | 194 | 1,631 | 1,825 | 0 | 7,031 |

(単位:千円)

| 科目 \ 区分 | 公益目的事業会計 | | | 収益事業会計 | | | 法人会計 | 合計 |
|-----------------|--------------|-------------|-----------|----------------|---------------|----------|--------|-----------|
| | 公1 文化振興事業 | 公2 水族館事業 | 小計 | 収1 文化自主センター | 収2 水族館売店事業 | 小計 | | |
| ② 管理費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16,727 | 16,727 |
| 役員報酬 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,693 | 2,693 |
| 給料手当 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,214 | 3,214 |
| 臨時雇賃金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 福利厚生費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 6 |
| 法定福利費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 783 | 783 |
| 旅費交通費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 120 | 120 |
| 接待交際費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 28 | 28 |
| 消耗品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 707 | 707 |
| 燃料費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 |
| 会議費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 284 | 284 |
| 印刷製本費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 780 | 780 |
| 修繕費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 71 | 71 |
| 医薬材料費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 通信運搬費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 334 | 334 |
| 広告宣伝費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 58 | 58 |
| 支払手数料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 155 | 155 |
| 保険料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 46 | 46 |
| 委託費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 295 | 295 |
| 賃借料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,107 | 1,107 |
| 支払負担金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,049 | 1,049 |
| 租税公課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 52 | 52 |
| 退職給付費用 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,077 | 4,077 |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 減価償却費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 864 | 864 |
| 経常費用計(B) | 435,416 | 1,636,566 | 2,071,982 | 46,832 | 699,242 | 746,074 | 16,727 | 2,834,783 |
| 当期経常増減額(A)-(B) | △ 53,391 | △ 62,391 | △ 115,782 | 8,330 | 39,006 | 47,336 | 0 | △ 68,446 |
| 2 経常外増減の部 | | | | | | | | |
| (1) 経常外収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外収益計(C) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ① 固定資産除去損 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 器具備品除却損 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外費用計(D) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額(C)-(D) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 他会計振替額(E) | 21,454 | 0 | 21,454 | △ 3,776 | △ 17,678 | △ 21,454 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 31,937 | △ 62,391 | △ 94,328 | 4,554 | 21,328 | 25,882 | 0 | △ 68,446 |
| 一般正味財産期首残高 | 159,858 | 752,268 | 912,126 | 57,607 | 364,069 | 421,676 | 376 | 1,334,178 |
| 一般正味財産期末残高 | 127,921 | 689,877 | 817,798 | 62,161 | 385,397 | 447,558 | 376 | 1,265,732 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | | | | | |
| ① 一般正味財産への振替額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 565,000 | 0 | 565,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 565,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 565,000 | 0 | 565,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 565,000 |
| III 正味財産期末残高 | 692,921 | 689,877 | 1,382,798 | 62,161 | 385,397 | 447,558 | 376 | 1,830,732 |

令和2年度資金調達, 設備投資及び特定資産残高の見込み書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

1. 資金調達の見込み

借入予定の有無 なし

2. 設備投資の見込み

(単位: 千円)

| 取得 | 事業番号 | 設備投資の内容 | 支出予定額 | 資金調達方法 |
|----|-------|------------------|-------|--------|
| | 公2 | 沖縄のサンゴLED照明器具 | 352 | 自己資金 |
| | 公2 | 沖縄のサンゴカルシウムリアクター | 198 | 自己資金 |
| | 公2 | アクアウォッチング用マスク | 198 | 自己資金 |
| | 公2 | ミズクラゲ培養用クレーゼル | 1,815 | 自己資金 |
| | 公2 | クリオネ展示水槽 | 440 | 自己資金 |
| | 公2 | 水中掃除機(オットセイプール用) | 440 | 自己資金 |
| | 公2 | 凍結保存容器(DR-17) | 151 | 自己資金 |
| | 公2 | 凍結保存容器(DR-17A) | 173 | 自己資金 |
| | 公2 | ラッコ(カンナ)剥製標本作成 | 715 | 自己資金 |
| | 公2 | ラッコ(カンナ)骨格標本作成 | 715 | 自己資金 |
| | 公2 | イルカ輸送用キャンパス | 660 | 自己資金 |
| | 公2 | 水中ドローン | 275 | 自己資金 |
| | 公2 | 夏期特別企画展用VR用機器 | 242 | 自己資金 |
| | 公2・収2 | 駐車場警備ボックス | 596 | 自己資金 |
| | 計 | 6,970 | | |

3. 特定資産残高の見込み

(単位: 千円)

| 特定資産の区分 | 積立金の残高及び増減の見込み額 | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|--------------|----------------------|
| | 前期末残高 (A) | 当期増加額 (B) | 当期減少額 (C) | 当期末残高 (A)+(B)-(C) |
| (1) 退職給付引当資産 | 545,279 | 31,361 | 20,000 | 556,640 |
| (2) 助成事業積立資産 | 535,000 | 0 | 0 | 535,000 |
| (3) 文化振興事業積立資産 | 57,027 | 0 | 12,119 | 44,908 |
| (4) 施設設備修繕等積立資産 | 108,646 | 0 | 0 | 108,646 |
| (5) 事業資金積立資産 | 211,280 | | 0 | 211,280 |
| (6) 緊急時対応積立資産 | 231,915 | 0 | 0 | 231,915 |
| (7) 特定費用準備資金 | 59,262 | 0 | 17,009 | 42,253 |
| 文化活動助成事業資金 | (59,262) | (0) | (17,009) | (42,253) |
| (8) 資産取得資金 | 105,537 | 0 | 794 | 104,743 |
| 減価償却資産取得資金 | (105,537) | | (794) | (104,743) |
| 合計 | 1,853,946 | 31,361 | 49,922 | 1,835,385 |